



TITLE:

表紙・目次・序

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次・序. 代数幾何学シンポジウム記録 1981, 1981

ISSUE DATE:

1981

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/212611>

RIGHT:

1981

代数幾何学シンポジウム

記 録

昭和56年度科学研究費総合A
(課題番号 534002, 代表 中井喜和)

於 城 崎 町
(1981年11月30日～12月4日)

目 次

序

1. Riemann-Roch inequality for ample divisors

松 阪 輝 久 (Brandeis Univ.) 1

2. Coarse moduli space for polarized manifolds

藤 木 明 (京大・教養) 23

3. 正標数の体上の del Pezzo 多様体

藤 田 隆 夫 (東大・教養) 37

4. 有理曲線の輪を含むVII。一曲面について

榎 一 郎 (上智大・理工) 54

5. Singular del Pezzo surfaces

Miles Reid (Warwick Univ.) 未収録

6. 3次のSiegel modular formについて

露 峰 茂 明 (中央大・理工) 84

7. Affine 環の部分環について

小野田 信 春 (阪大・理) 108

8. $(2, 1)$ -ファイバー空間に対する Hodge 構造の変動について

宮 岡 洋 一 (都立大・理) 120

9. 標数 2 の Enriques 曲面について	桂 利 行 (横浜市大・文理).....	135
10. Cubic equivalence と cohomology	齊 藤 博 (名 大 ・ 理).....	153
11. Algebraic cycles on abelian varieties with many real endomorphisms	裕 文 夫 (東 大 ・ 理).....	181
12. Examples of false ruled surfaces	Herbert Kurke (Humboldt Univ.).....	203
13. 極小超曲面と Cremona 変換	飯 高 茂 (東 大 ・ 理).....	224
付録	前 田 博 信 (東 大 ・ 理).....	261
14. Degenerations of minimal surfaces with non-negative Kodaira dimensions	角 田 秀一郎 (阪 大 ・ 理).....	270
付録	A Riemann-Roch type inequality for ample divisors (大阪大学・京都大学における松阪輝久教授による連続講義)	
	満 渕 俊 樹 (阪 大 ・ 教 養).....	286
	角 田 秀一郎 (阪 大 ・ 理)	

序

城崎において代数幾何学のシンポジウムが開かれるようになって、今回で丁度5回目になるかと記憶しているが、一つの年中行事として定着しつつあり、毎年少なからぬ人が集まり、活発な研究発表が行なわれ、斯学の進歩に些かの貢献をしてきたと思われる。今回も「つたや晴嵐亭」を主な舞台に、50人余の人が参加し盛会であった。とくに今回は学振の招聘研究者として日本に滞在中の松阪輝久氏（Brandeis大学—大阪大学）、M. リード氏（Warwick大学—京都大学）、並びに東独よりの訪問者H. クルケ氏（Humboldt大学—東海大学）の参加を得て、夫々興味ある研究発表をして頂き錦上花を添えて頂いたことは喜ばしいことであった。中でもリード氏は、巧みな日本語を自在に駆使し、遠慮のない質問、適確な批判を随時発言し、会場に生き生きした雰囲気をもりあげること大いに貢献されたことは特筆に値しよう。我々日本人研究者のよくなし得ないところであり、反省すべきではなからうかと思った次第である。次回以後のシンポジウムにおいてもこのような活発なやりとりの行なわれるように、参会者の皆さんに心掛けて頂きたいものである。

この報告集にリード氏のものが間に合わなかったのは大変残念である。その代りというわけではないが松阪氏の、阪大及び京大における講義を附録として収録することにした。これは、満洲、角田両氏が、松阪氏の講義を熱心にノートにとり、興味深いコメントをつけ加え、更に満洲氏が、それを浄書したものである。その間の労力は少なからぬものがあつた。この所をかりて両氏にあつくお礼申し上げたい。松阪氏の講義をきく機会をもたなかった人にも、また、きいた人にとっても役立つことと信ずる。

今回のシンポジウムが盛会裏におわることができたのは、計画の当初より、参画し、講演者の選択、プログラムの作製、連絡等に優れた手腕を発揮してくれた宮西氏の功によるところ甚大である。こゝに記して感謝の意を表わしたい。

また会場関係で尽力して頂いた、宮田氏並びに「つたや」旅館の方々、科研旅費支給事務に協力して頂いた阪大数学教室の西田氏にこのところをかりて厚くお礼申し上げる次第である。

57年1月20日

中 井 喜 和